

令和 8 年第 2 回（臨時会）

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和 8 年 2 月 1 8 日（水） 1 6 時 3 0 分

2 閉会

令和 8 年 2 月 1 8 日（水） 1 8 時 0 0 分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 長門 茂明 池川 徹 金光 えり 日西 大介

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

次長 澤田 慎也  
生涯学習課長 阿部 雄史  
生涯学習課参事 乾 哲也

5 会議録署名委員の指名

（ 金光 えり ）

（ 日西 大介 ）

6 議案

議案第 1 号 令和 8 年度教育行政執行方針について （別冊 1）

【質疑】

池川委員：公営塾の新たな拠点についてはどのようなになったか。

乾参事：町長査定後、当初予算として計上している。

池川委員：今後は、公営塾の拠点整備以外にも、入学者が増えるように様々な観点での取り組みが必要なのではないか？

教育長 : ハード整備のみならず、ソフト整備も力を入れていきたい。

池川委員 : 様々な目的を掲げるのではなく、どのような目的で取り組んでいくのかについて、しっかりと協議しながら進めていくべきではないか。

乾参事 : 「選ばれる高校」になることを目的に取り組んでいくことはもちろんのこと、高校生が当事者として様々な活動に参画できるようにしていきたい。

澤田次長 : 人口が1万人をきる自治体で、高校が存在している自治体は、どこも大変な苦勞をしている。近隣市町の状況を見ても、どこも生徒数が減ってきているため、各高校で生徒確保が難しい状況である。その他の事例を参考にすると、単なる学習塾ではなく、勉強や進路におけるコーチングのサポートがこれからの役割を担っていくことになるのではないか。中学生を対象にする、オンラインでの対応も検討する等、先進事例を参考に検討していきたい。

池川委員 : なにか財源はあるのか。

乾参事 : 北海道の地域づくり総合交付金を申請予定である。

池川委員 : 新たな拠点を整備した際に人員配置や環境に関する協議はできているのか。

乾参事 : 生徒たちの活動の幅が多様化しており、それぞれの「やりたい」ことに伴奏するスタッフの配置や地域の方々と生徒との交流を促進するような機会の提供も検討している。

池川委員 : 現在のスタッフ体制は。

乾参事 : 地域おこし協力隊を2名委嘱しており、最長3年間の任期となっている。

池川委員 : 教育魅力化支援員の中でも、今後継続的に関わっていただけるような人員確保が優先的に考えるべきではないか。

長門委員 : 生徒から出てきた意見に伴走するのではなく、生徒からで

てきた意見に対して、「どのように実現していくのか」に関する助言を提供していくことこそが求められているのではないか。また、新たに整備を行う文化交流施設での居場所も含めて、慎重に判断をすることが重要だと思う。

乾参事 : 文化交流施設内では、専用の部屋を確保することは難しいため、今後は、生徒と地域の方々、教育魅力化支援員が関わるような場になるよう検討していく。

池川委員 : 今後も拠点施設内で具体的になにを行うのかについて、明確に説明できるようにしておくことが必要ではないか。もう少し、段階的に取り組んでいった方がよいのではないか。

教育長 : 上半期のうちに厚真高校とどのように連携して取り組んでいくかについて検討していく。

池川委員 : 高校の内部で公営塾は取り組めないのか。

澤田次長 : 原則できない。今後は、厚真高校のブランドを高めていく取り組みが重要であると考えている。そのため、この拠点については、起爆剤になるような取り組みにしたいため、熟考させていただきたい。

池川委員 : 生徒への補助金の在り方についても、町内外の生徒への公平性や進学した場合への補助等の検討を始めるべきなのではないか。

長門委員 : これまでのイメージを払拭するのはすごく難しいことだが、取組内容を検討して行ってほしい。その他、学力と同時に人格形成にも力を入れていけるのが、厚真町ならではの取組なのかもしれない。自分に足りない部分を見つけられるような場所としての公営塾だとすごくよいのではないか。

澤田次長 : 公営塾の特性としては、個々を伸ばしていける、もしくは高校ではできないところを補っていけるという点では、有意義な場所になっていくのではないかと考えている。

池川委員：読書手帳とはなにか。

乾参事：これまで借りた本を記録化して次の選書の参考にするものである。

日西委員：総合型地域文化・スポーツクラブの設立や部活動の地域展開のスケジュールについて。

澤田次長：令和8年度からクラブの設立及び中学校の部活動の地域展開がほぼ完了する予定である。

金光委員：令和8年度に教育サポートセンターが始まるという認識でよいか。不登校や不登校傾向だけではなく通常学級での支援も入るのではないか。

阿部課長：教育サポートセンターの機能としては、あくまでも不登校や不登校傾向の児童生徒を対象にしていく。通常学級へのサポートについては、教育サポートセンターは担任しない考えである。

長門委員：給食費の無償化について。無料だから質が下がるというものではなく、質を維持しながら無償化を図っていくのか。

教育長：現状では、質を下げずに提供していく予定である。

阿部課長：次回の委員会時に、物価高騰による材料費の値上がり状況を報告予定である。

## 7 次回委員会の開催日程

- ・ 定例委員会 2月24日（火） 午後1時30分（予定）
- ・ 総合教育会議 2月24日（火） 午後3時30分（予定）
- ・ 臨時教育委員会 3月 2日（月） 午後5時00分（予定）

## 8 閉会